



校訓 自律 創造 友愛

学校教育目標 志高く自らの人生と社会の未来を拓く人を育てる

育てたい人間像

- 知・徳・体の調和のとれた人格を身につけた人
- 新しい時代に必要未来開拓力を身につけた人
- 生涯にわたって主体的に学び続け、地域社会やグローバル社会に貢献できる人

P

何ができるようになるか

新しい時代に必要な **未来開拓力**

社会の中で役割を果たしながら自分らしい生き方を実現し、新しい知や価値を創造していくために必要な資質・能力



教養力

幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能

思考力

論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力

表現力

思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力

協働力

多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力

省察力

自らの行動を振り返り、改善し、前に踏み出す力

志力

志高く挑戦し、主体的に人生や社会の未来を拓く力

何を学ぶのか

D

「総合的な探究の時間」を軸に「各教科・科目」、「特別活動」等を有機的につなげ、社会に開かれたカリキュラム

■未来開拓型カリキュラム×3つの学びのコース

- ・新しい大学入試に対応する本校独自の教科・科目「Global English」、「探究」
- ・一人ひとりの学習進度に応じた少人数・習熟度別授業
- ・進路に応じた多彩な選択科目
- ・個性を生かせる3つの学びのコース

■総合的な探究の時間ACT

- ・自分の将来を考える「キャリア探究」
- ・社会の未来を考える「課題探究」
ローカル課題から未来を考える「地域学」
グローバル課題をSDGsの視点を取り入れて考える「テーマ探究」

■さまざまな主体的活動

- ・生徒会活動、部活動、ボランティア活動等
- ・視野を広げる「グローバル&サイエンス・プログラム」
- ・3年間を見通した「進路研究プログラム」
- ・校内外のさまざまな学習機会

どのように学ぶのか

D

主体的・対話的で深い学びをととして未来開拓力を身につける

■「千鳥型学習指導のスタンダード」による学び

- ・「授業スタンダード」でアクティブ・ラーナーへと成長
目標提示→主体的活動→振り返る機会
- ・学習内容に学びを最適化
講義型授業、AL型授業、ICT型授業
- ・「学習時間のスタンダード」でバランスのとれた家庭学習

■社会や将来とつながる探究学習(PBL型学習)

- ・社会と自らの生き方を関連づけて考え、主体的に自身の進路を拓く学び
- ・正解のない課題について探究し、解決へのアプローチ方法を身につける学び
- ・教科・科目で学んだ知識を関連づけて活用する教科横断的な学び

■体験を経験に変える主体的な学び

- ・自らねらいを持って体験し、考えて得た経験を積み重ねていく学び

改善

A

何が身についたのか

C

資質・能力の多面的・総合的評価による学びのPDCAサイクル

- ・ペーパーテストによる評価に加えて、パフォーマンス評価、ルーブリック評価などの多面的・総合的評価
- ・授業毎に振り返る機会、学習活動毎にリフレクション・シート、学期毎にルーブリックを用いた振り返り
- ・学習eポートフォリオにより学びを振り返り、改善につなげるPDCAサイクルの確立



実施するために何が必要か

- 指導のノウハウやスキルを継承、進化させる体制や研修の充実
- 業務の精選により、教材や生徒に向き合う時間を確保
- チーム学校体制の充実
- 教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資産も含めて活用

生徒をどのように支援するか

- 小中高接続プログラム
・小中学校との連携
・初期指導とガイダンスの充実
- 教育相談体制、生徒面談、教科カウンセリングの充実
- 学校・生徒・保護者間の情報共有



家庭 地域の幼小中学校・大学 地域社会 同窓会 関連機関

